

平成30年 5月

第689号



水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



長崎の農業・農村写真コンテスト
入選作品
「ジャガイモ収穫」雲仙市千々石町



～目次～

就任のご挨拶（長崎県農林部長）	2
国の農業農村整備予算の推移	3
長崎県の農業農村整備予算の推移	3
長崎県の平成30年度農業農村整備予算割当額	3
第62回通常総会	4～5
全国水土里ネット第60回通常総会	6
全国水土里ネット表彰式	7
水土里ネット広報女性部会及び意見交換会	7
平成30年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図	8
長崎県農林部幹部職員名簿	8
第208回理事会	9
本会の新規採用職員紹介	9
第11回長崎の農業・農村写真コンテストのお知らせ	9
土地改良法の一部改正について	10
〔創設〕農業水路等長寿命化・防災減災対策事業について	11
第41回全国土地改良大会宮城大会について	11
会議と行事	12
本会会員新規加入について	12



就任のご挨拶

長崎県農林部長
中村 功

長崎県土地改良事業団体連合会会員の皆様方におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、皆様には日頃から、本県農業の振興にご尽力いただいておりますことに心からお礼申し上げます。

本年4月から、長崎県農林部長を拝命いたしました中村功でございます。本県農林業の発展に全力を尽くす所存でございますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成28年の本県農業産出額は1,582億円で、7年連続の増加となり、この10年間の伸び率で比較しますと、全国が10.4%であるのに対し、本県は19.0%と大きな伸び率となっております。これもひとえに日頃の皆様方の事業推進に向けたご尽力の賜物であり厚くお礼を申し上げます。

本県では、平成28年度に「新ながさき農林業・農山村活性化計画」を策定し、「生産・流通・販売対策」を軸としたしっかり稼ぐ仕組みを構築し、農林業・農山村全体の所得向上を図ることで、人を呼び込み地域がにぎわう社会の実現を目指し、品質向上、収益向上、単価向上対策や、コスト低減対策など各種施策に積極的に取り組んでいるところであります。

こうした中、国の平成30年度農業農村整備事業関係予算につきましては、対前年度比8%増の4,348億円が計上され、平成29年度補正予算1,452億円を合わせると5,800億円となり、予算が大幅削減される前の平成21年度当初予算額を上回りました。また、本県においては、平成30年度当初予算48億円と、平成29年度補正予算36億円を合わせますと84億円となり、ほぼ前年度並みの予算を確保することが出来ました。これ

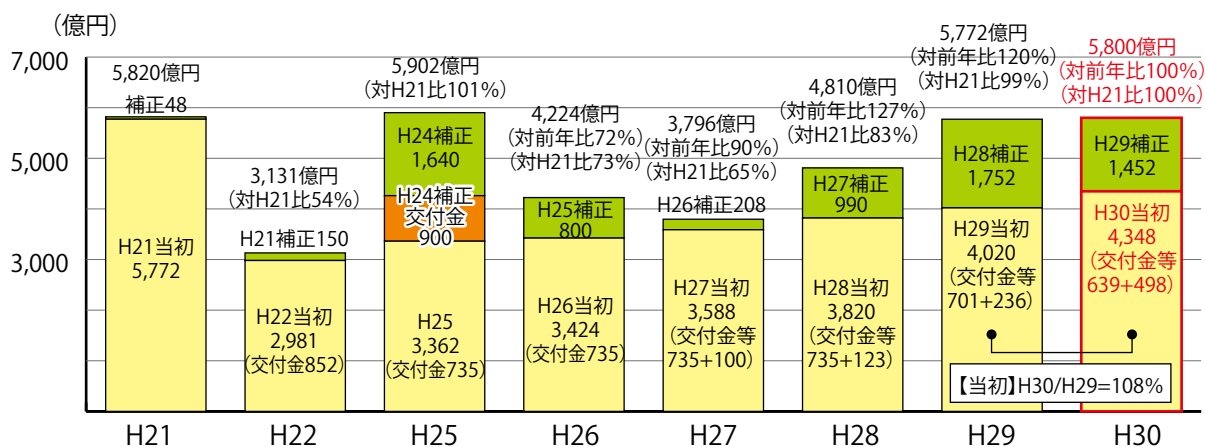
も皆様方にお力添えを賜りました成果であり、心から感謝を申し上げます。県といたしましては、今後とも必要な予算の確保に努めてまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願いいたします。

また、昨年は、農地の利用集積を加速化するため、農地中間管理機構と連携して土地改良事業を円滑に進める土地改良法の改正が行われ、農業者に費用負担を求めずに基盤整備を実施できる制度が創設されたほか、今国会では、耕作者の意見が適切に反映される事業運営体制への移行等、今後の土地改良区の在り方について法改正を含む制度見直しが審議されておりますので、国の動きを注視して制度見直しの効果を最大に活用できるように取り組んでまいります。

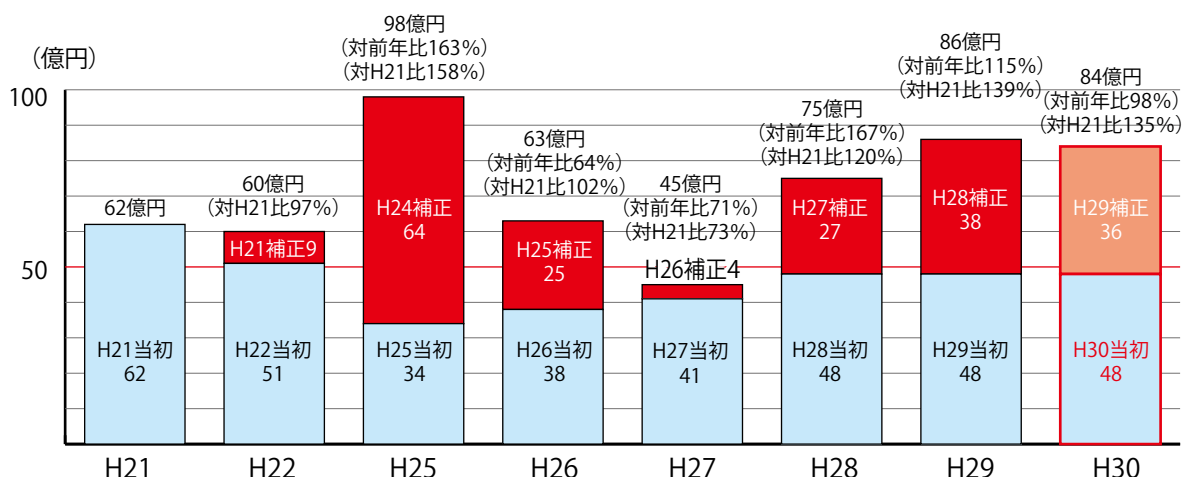
一方、諫早湾干拓事業の排水門の開放問題につきましては、福岡高等裁判所から「開門しないことを前提に、開門に代わる基金等の方策による全体的解決を図るものとする。」とした和解の方向性が示されました。県といたしましても、福岡高等裁判所が示した和解方針に沿って、関係者による協議が早期に整い、開門することなく真の有明海再生につながる具体的成果が得られるよう期待しているところであります。今後も、開門により地元被害が出ることがないように適切に対処してまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様方の益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

国の農業農村整備予算の推移



長崎県の農業農村整備予算の推移



長崎県の平成30年度農業農村整備予算割当額

(事業費ベース) 単位:千円

	H29補正	H30当初	備 考
水利施設等保全高度化事業	2,335,610	1,566,753	基盤整備・排水路整備等
農業競争力強化農地整備事業	550,000	526,000	
農地耕作条件改善事業	0	210,680	
農村地域防災減災事業	691,728	1,040,215	
農業水路等長寿命化防災減災事業	0	54,800	
土地改良施設維持管理適正化事業等	0	35,803	
農山漁村地域整備交付金	0	1,405,298	基盤整備・農道整備・護岸整備等
総計	3,577,338	4,839,549	

第62回 通常総会

2月21日（水）、長崎県市町村会館において、本会の第62回通常総会を開催しました。本総会は、市町村関係6団体による合同総会として開催されています。

13時から開催された合同総会では、長崎県水道協会 山口文夫会長が各団体を代表して挨拶され、来賓の中村法道：長崎県知事、八江利春：長崎県議会議長、石井俊道：九州農政局長が祝辞を述べられました。

合同総会に引き続き、本会の第62回通常総会を、122会員のうち、委任状を含む120会員の出席により開催しました。総会では、宮崎雅夫：都道府県水土里ネット会長会議顧問が来賓挨拶を述べられ、議長に酒井光則：空池原土地改良区理事長を選任し議事に入り、上程した議案は全て可決承認されました。

なお、第7号議案の役員補欠選任に関する件については、欠員役員について選任が行われ、新たな代表監事が決定しました。任期は平成30年2月21日から平成32年3月31日までとなります。

最後に決議文を小川理事（田平土地改良区理事長）が力強く朗読し、原案どおりで採決されました。

また、合同総会において、土地改良事業功労者表彰が執り行われ、6名の受賞者へ賞状と記念品が宮本会長より授与されました。

《本会総会議事》

- 第1号議案 平成28年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認を求める件
- 第2号議案 平成29年度事業変更計画書及び収支補正予算書の承認を求める件
- 第3号議案 平成30年度経費の賦課及び徴収方法の承認を求める件
- 第4号議案 平成30年度事業計画書及び収支予算書の承認を求める件
- 第5号議案 役員報酬額決定の承認を求める件
- 第6号議案 借入金額の限度及び借入の方法並びに余裕金の預入先決定の承認を求める件
- 第7号議案 役員補欠選任に関する件



宮本正則長崎県土連会長



来賓祝辞
(中村法道：長崎県知事)



来賓祝辞
(八江利春：長崎県議会議長)



来賓祝辞
(石井俊道：九州農政局長)



来賓挨拶
(宮崎雅夫：都道府県水土里ネット会長会議顧問)



第62回通常総会

第62回通常総会決議

農業・農村は、国の大本であり、安全・安心な食料を安定的に供給するとともに、日本の豊かな国土や自然環境を形成し、潤いのある国民生活を支えてきた。これも先人達の農地や農業用水路など地域資源の維持向上に向けた献身的な努力の賜物であり、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

しかしながら、農業・農村においては、農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加、担い手不足等による農業用水の管理や営農の継続が困難になるなど多くの課題に直面している。さらには人口減少に伴う地域活力の低下などが懸念されている。

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積・集約、大規模化、省力化、汎用化等が可能となる優良農地の創出を実現する生産基盤整備の加速化と、適時適切な農業水利施設等の維持・更新が不可欠である。加えて、ため池を含む農業水利施設の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災対策の推進も必要である。

このような状況を踏まえ、昨年五月に改正土地改良法が公布され、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担を求めない農地整備事業やため池等の耐震化を迅速に進める事業の創設、土地改良施設の突発事故被害の復旧事業に係る手続きの簡素化が盛り込まれた制度が整えられた。また、土地改良区の組合員資格や体制見直しなどを含む土地改良制度について今国会に法案提出を目指している。

本県では、農地の基盤整備が完成した地域においては、高収益性作物の導入などにより、農業所得向上や担い手への農地集積に伴う規模拡大が実現し、地域の児童数が増加するなどの波及が現れ、農業経営の強化とともに地域の活性化に繋がっている。このように、農業農村整備は、地方創生、農業の競争力強化、国土強靱化といった政策課題への対応においても重要な役割を担っている。

一方、国の平成三十年度の農業農村整備事業関係予算は、当初予算と平成二十九年度補正予算を合わせると、大幅削減前の平成二十一年度の水準に回復したものの、事業を計画的かつ効率的に進めるためには、当初予算による安定的な予算確保が不可欠である。

このような現下の状況を踏まえ、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国が目指す施策の展開方向を踏まえ、「闘う土地改良」のスローガンの下、下記事項が確実に実現されるよう国並びに県当局に求めることを第六十二回通常総会の名において決議する。

記

- 一、担い手への農地集積を加速化し、競争力のある農業を展開するため、農地の大区画化や排水対策、畑地かんがい施設の整備など、生産基盤整備を着実に推進すること
- 一、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設の長寿命化と耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること
- 一、健全な農業・農村を維持するためには、水路やため池等の農業用施設の適切な維持管理を実施している土地改良区の役割が重要であり、担い手への農地集積等に対応した、適切な施設の維持管理が行えるよう、土地改良区の運営基盤の強化を図ること
- 一、これらの施策を計画的に実現するために必要な、農業農村整備事業当初予算を確実に確保すること

平成30年2月21日

長崎県土地改良事業団体連合会 第62回通常総会

土地改良事業功労者表彰受賞者

- | | |
|-------|------------------|
| 山本 弘信 | (諫早市 農地保全課長) |
| 田地 薫 | (西海市 産業振興部長) |
| 秋山 勝也 | (雲仙市 産業部長) |
| 池田 進 | (諫早干拓土地改良区 副理事長) |
| 辻 樹夫 | (壱岐土地改良区 事務局長) |
| 荒木 裕人 | (県央振興局 農村整備課長) |

※敬称略

受賞おめでとうございます!



受賞者の皆様

全国水土里ネット第60回通常総会

3月26日（月）、都市センターホテル（東京都）において、全国水土里ネット第60回通常総会が開催されました。

会議に先立ち、昨年6月に逝去された吹田愷：山口県土連会長、本年1月に逝去された野中廣務：全土連名誉会長への哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。

高貝久遠：全土連副会長の挨拶では「平成30年度予算は補正と合わせ5,800億円が確保された。これも皆さまのご尽力による賜物であると、感謝申し上げたい。また、土地改良法改正が昨年に引き続き行われ、今年は土地改良区の組織そのものに係る改正が予定されている」と言及されました。続けて、「計画的な事業推進のため、当初予算確保のため『闘う土地改良』を続けると共に、皆さまのさらなる尽力をお願い申し上げる」と述べられました。

その後、上程された議案については、全て満場一致で可決されました。また、議案可決後、総会決議が事務局より読み上げられ、満場一致で採決されました。



第60回通常総会決議

全国の農村では、都市に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化、減少等により、農地、農業用水等の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが想定される。

農業を、次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。加えて、全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっている。

水土里ネットは、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務がある。

この責務の遂行に不可欠な土地改良関係予算は、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行ってきた結果、平成30年度予算は、平成29年度補正予算と合わせて5,800億円と、大幅削減前を上廻る額の確保が出来た。それでも、当初予算は大幅削減前の75%に留まっており、引き続き、当初予算の回復を要求していく必要がある。

昨年、土地改良法が改正され、担い手への農地集積を加速するため農地中間管理機構と連携したほ場整備事業の創設や、防災減災対策の強化、事業実施手続きの簡素化が図られた。一方、構造改革の進行による組合員の減少や農地水利施設の更新の時代を迎えるなか、今後とも担い手等の求める施設管理が継続的に行えるよう、水土里ネットの運営基盤の強化が求められている。

水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに参集した同志が「闘う土地改良」の旗印の下に、一致団結して、次の事項の実現を図り、農地農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一 土地改良関係予算は、現場のニーズに十分応えられる規模を確保すること。その際、安定的・計画的な事業執行のために、当初予算での確保を図ること。
- 一 昨年の土地改良法改正を踏まえて、農地中間管理機構と連携したほ場整備やため池等の耐震化、機能向上を伴う施設の更新整備等を地元のニーズに応じて速やかに進めること。
また、ほ場整備の実施に当たっては、水土里ネットが有する技術、経験、水土里情報システムなどを十分発揮できるよう配慮すること。
- 一 担い手への農地集積・集約化、生産コストの低減、高収益作物への転換等、農業の構造改革を加速化するため、農地の大区画化、水田の汎用化、畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の対策を一層推進すること。その際、中山間地域等においても、農業経営の持続的発展に向けて、地域特性を踏まえた基盤の整備が可能となるよう十分配慮すること。
- 一 東日本大震災を始めとする未曾有の災害からの復旧・復興を早急かつ加速度的に進めること。併せて、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む農業水利施設等の耐震化や地域排水機能の強化等の防災減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること。
- 一 現在、検討が行われている水土里ネットの組合員資格や体制の見直し等の土地改良法の改正にあたっては、水土里ネットの意見を十分踏まえるとともに、中小規模の水土里ネットの事務体制に応じた支援を国や都道府県が確実に行うこと。併せて地域資源を有効に活用した小水力発電等による維持管理費の軽減など、運営基盤を強化する取組を推進すること。
- 一 平成30年度に施設評価が行われる多面的機能支払交付金については、より使い勝手が良くなるよう制度の見直しを図るとともに、農地や水路、農道等の保全活動等が適切に実施できるよう十分な予算の確保を図ること。その際、これまで水土里ネットが合意形成や共同管理を通じて「農村協働力」を強化し地域資源を支えてきたことや検討されている土地改良法の改正の主旨等に鑑み、水土里ネットの能力を十分発揮できるよう配慮すること。

平成30年3月26日

全国土地改良事業団体連合会 第60回通常総会

全国水土里ネット表彰式

3月26日(月)、シェンバツハ・サボー(東京都)において全国水土里ネット表彰式が執り行われ、各表彰の受章土地改良区などをはじめ、農林水産大臣及び省幹部の方々が出席され、農業農村の発展に尽力し貢献されてきた方々の功績を称えました。

斎藤健：農林水産大臣は祝辞の中で「本日表彰された皆さんは、地域の特性に応じ、農業の体質強化や持続的発展などに積極的に取り組み、団体の良好な運営、農業の生産性の向上、個性ある地域づくり等に大きな成果をあげてこられた。農水省としては農業農村整備をしっかりと行った上で、今後とも土地改良事業の一層の推進に全力で取り組んでいく」と述べられました。続いて、進藤金日子：参議院議員は「現場主義ということで、全国各地を訪問し話を伺っている」と、平成30年度においても地域の実情を伝えていく必要性を強調されました。

また、新たに都道府県水土里ネット会長会議顧問に就任された宮崎雅夫氏は「1月より顧問に就任させて頂き、全国各地を廻らせて頂きお話を伺っている。進藤先生と共に土地改良を推進し、日本の農業農村の発展のために力を尽くしたい」と述べられました。

なお、本県からの受賞者は以下のとおりです。

第59回全国土地改良功労者表彰

- 金章：飯盛土地改良区（諫早市）
- 銀章：山田原土地改良区（雲仙市）
芦辺土地改良区（苓崎市）
- 銅章：平成諫早湾干拓土地改良区（諫早市）
南串土地改良区（雲仙市）
- 個人：小林茂俊（鬼岳土地改良区理事長）
中村重光（長崎県土連参与）

農業農村整備優良地区コンクール表彰

- 全国水土里ネット会長賞：溜水・妙見地区
（雲仙市：南串土地改良区）



式辞（二階俊博：全土連会長）



来賓祝辞（進藤金日子：参議院議員）



来賓祝辞
（宮崎雅夫：水土里ネット会長会議顧問）



左から、松尾副会長、中村参与、飯盛：道原理事長、山田原：大久保理事長、進藤参議院議員、南串：篠塚理事長、平成諫早湾干拓：山開理事長、鬼岳：小林理事長、南串：田島さん

水土里ネット広報女性部会総会

4月24日(火)、砂防会館別館（東京都）にて、水土里ネット広報女性部会総会が開催されました。

会では、全国各地より水土里ネット広報女性部会会員が参加し、今年度における広報女性部会の活動計画が承認されました。意見交換会では「みやぎ水土里ネット女性の会」の設立に向けた準備から、第一回総会開催までの活動状況の報告が行われました。

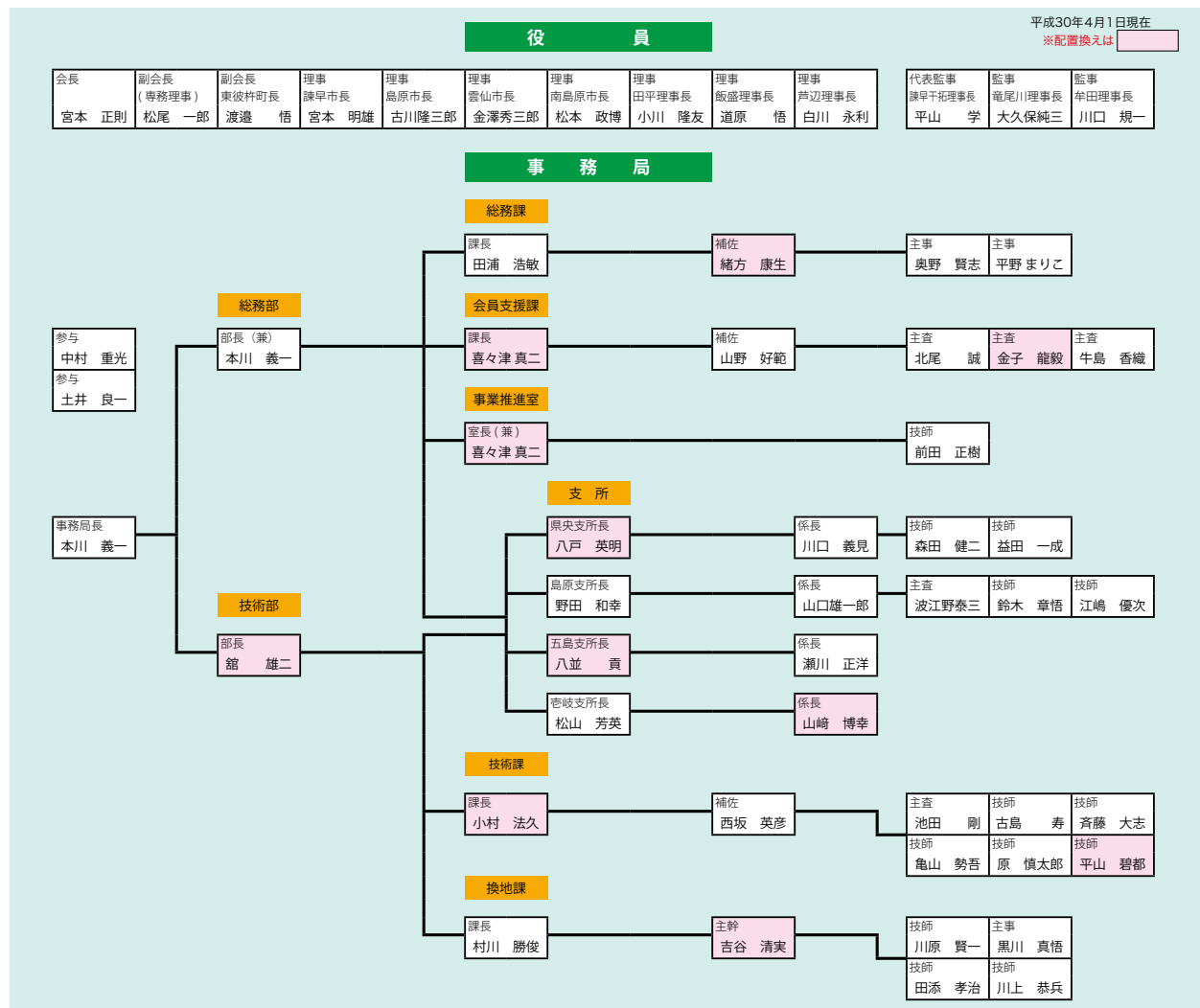
小林祐一：全土連専務理事は「政府は、すべての女性が輝く社会を目指し、少子高齢社会の中で女性の躍進をすすめている。女性部会を、水土里ネットの業務に携わる女性の活動の広報や、農業農村整備広報会議の活性化などに役立ててほしい」と述べられました。

また、勉強会では、進藤金日子：参議院議員から「全国を廻る中で、女性の会が増えてきていると感じており、女性の会・婦人の会の活動は極めて重要である」と、女性部会へ激励のお言葉をいただきました。



進藤金日子：参議院議員

平成30年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図



長崎県農林部幹部職員名簿 (平成30年4月1日付)

部署名	職名	氏名
【農林部】	部 長	中村 功(新)
	次 長	岡本 均(新)
	次 長	綾香 直芳(新)
	参事監	山根 伸司(新)
農政課	課 長	吉田 弘毅(新)
農山村対策室	室 長	川口 健二
団体検査指導室	室 長	上田 幸明
農業経営課	課 長	宮本 亮(新)
農地利活用推進室	室 長	村里 祐治(新)
農産園芸課	課 長	渋谷 隆秀
農産加工流通課	課 長	長岡 仁
畜産課	課 長	山形 雅宏(新)
農村整備課	課 長	西尾 康隆
	企画監	土井 幸寿
	参 事	篠崎 剛
諫早湾干拓課	課 長	藤田 昌三
林政課	課 長	内田 陽二
森林整備室	室 長	永田 明広

部署名	職名	氏名
【県央振興局】		
農林部	局次長(兼)部長 副部長	江藤 博之 山本 奉彦
【島原振興局】		
農林水産部	部 長 副部長	光永 郁宏 野口 和弘
【県北振興局】		
農林部	部 長 副部長	永田 隆 栗原 百子(新)
【五島振興局】		
農林水産部	部 長	富永 祥弘(新)
農村整備課	課 長	田中 哲也(新)
【舌岐振興局】		
農林水産部	部 長	樋口 一司(新)
農村整備課	課 長	石村 敬浩
【対馬振興局】		
農林水産部	部 長 副部長	渡邊 孝裕(新) 一丸 禎樹(新)

第208回 理事会



議 題	
第一号議案	役員改選における選出基準の改訂について
第二号議案	役員の報酬・旅費等に係る取扱要領の改訂について

Dr. J. H. Kim

まだまだわからないことばかりですが一日一日を大事にし早く一人前の農業土木技術者になり、長崎の農業農村地域の発展のために頑張りたいと思っています。どうぞよろしくおねがいします。

第11回長崎の農業・農村写真コンテストのお知らせ

第11回 長崎の農業・農村写真コンテスト

作品募集

長崎の農業・農村に持つ大切な風景を多くの人に知っていただき、関心を高めたいために、「長崎の農業・農村写真コンテスト」を実施致します。心に残る素晴らしい風景や生活姿などを撮影した作品の応募をお待ちしております。

★
【募集要項】

農作業風景（代掻き、田植え、稲刈り、野菜作り、収穫の場面など）、収穫など）や農家の暮らし、自然の風景、伝統的建造物等々の写真

見つけた心に残る風景★

★
【募集要項】

雄大な自然景観、庭のある農村風景や棚田や緑茶のある風景、農村に在る生活文化・伝統行事等の写真

★
【募集要項】

風景の名所（国定公園等）

漁港（県庁中津島町）

人々の暮らしや自然風景に恵まれた山々でもっとも土地お宝施設（国庫土壌環境整備、農業用池など、農道、踏切、アースメント、水門等）、観光地、海水浴場、水門、歴史遺産など）及び施設の保全活動などの写真

●応募締切 ●
8/31まで
（当日消印有効）

各賞

- ◎長崎県知事賞 1点（3万円商品券）
- ◎水戸市ネットワーク局長賞 1点（3万円商品券）
- ◎部員優秀賞 3点（3万円商品券）
- ◎入選 70名（3万円商品券）

送別賞

T850-0057 長崎市大黒町9番17号
長崎県土地改良事業団体連合会
「長崎の農業・農村写真コンテスト係」宛

土地改良法の一部改正について

土地改良区の組合員の資格交代の円滑化・総代会制度の見直しなど、土地改良法の一部改正について、3月9日、今国会で成立を目指す法律案が閣議決定されました。

法律案の概要は下記のとおりです。

土地改良法の一部を改正する法律案の概要

背景

- 組合員の高齢化による離農や農地集積の進展に伴い、土地改良区の中で土地持ち非農家が増加し、土地改良施設の維持管理や更新等が適切に行えなくなるおそれ。
耕作者の意見が適切に反映される事業運営体制に移行していくことが必要。
- 組合員数や職員数の減少により、土地改良区の業務執行体制が脆弱化する中で、適正な事業運営を確保しつつ、より一層の事務の効率化が必要。

法律案の概要

1. 土地改良区の組合員資格に関する措置

- 所有者から耕作者への資格交替に係る農業委員会の承認制の廃止（届出制の導入）（第3条第2項）
- 農地中間管理機構が農地の貸借を行う場合の資格得喪通知の手続簡素化（第43条第3項）
- 貸借地の所有者又は耕作者で事業参加資格がないものに准組合員（※¹）の資格を付与

（第15条の2から第15条の4まで、第32条第4項及び第36条第2項）

※1 議決権・選挙権を有しないが、総会に出席して意見を述べる事が可能。

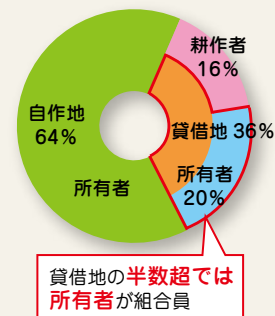
また、組合員との間で賦課金・夫役の一部を分割して負担することが可能。

- 理事の5分の3以上は原則として耕作者たる組合員（第18条第5項）
- 利水調整規程を策定し、利水調整をルール化（第30条第1項第2号及び第57条の3の2）
- 地域住民を構成員とする団体に施設管理准組合員（※²）の資格を付与（第15条の2から第15条の4まで、第32条第4項及び第36条の2）

※2 議決権・選挙権を有しないが、総会に出席して意見を述べる事が可能。

また、土地改良施設の管理への協力を求めることが可能。

■自作地・貸借地と組合員の構成



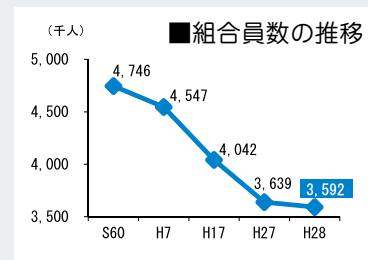
■農家と土地持ち非農家の戸数比

（農家：土地持ち非農家）

9 : 1 (昭和 60 年) → 6 : 4 (平成 27 年)

2. 土地改良区の体制の改善に関する措置

- 総代会制度の見直し（第23条）
 - ・ 総代会の設置要件を組合員 200 人超から 100 人超に引き下げ
 - ・ 総代選挙について選挙管理委員会による管理を廃止
 - ・ 総代の書面・代理人による議決権行使を導入
- 土地改良区連合の事業範囲を運営事務・附帯事業に拡大（第77条）
- 決算関係書類として、収支決算書に加え、原則として貸借対照表を作成し、決算関係書類の作成・公表に係る手続規定を整備（第29条の2）
- 監事のうち1人以上は原則として員外監事（第18条第6項）



1. 目的

農業の持続的な発展を後押しするため、農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能の安定的な発揮に必要な機動的かつ効率的な長寿命化対策及び防災減災対策を、早期に効果が発現する地区を対象にきめ細かく推進するとともに、効果を最大限に発揮するための取組を支援します。



2. 事業内容

※ソフト対策単独実施はできません

(1) 長寿命化対策	(2) 防災減災対策
ハード対策 ・機能保全計画に基づき農業水利施設の補修や更新 ・水管理労力軽減のためのパイプライン化 ・維持管理コスト低減のための整備 等 ソフト対策 ・機能保全計画の策定 ・ICT 化など省力化技術導入の検証 等	ハード対策 ・安全確保の転落防止柵整備 ・自然災害未然防止の施設設備 ・リスク管理のための観測機器設置 等 ソフト対策 ・施設の耐震性調査 ・ハザードマップの作成 等

3. 実施要件

- (1) 長寿命化・防災減災整備計画策定済み
- (2) 総事業費が200万円以上（受益面積要件なし）
- (3) 受益者数が2者以上
- (4) 事業期間：ハード対策3年以内
ソフト対策1年以内

4. 補助率

ハード対策 国 50%
ソフト対策 定額

5. 事業主体

県・市町村・土地改良区等

【お問合せ先】

長崎県 農林部 農村整備課 (TEL: 095-895-2961)

第41回全国土地改良大会宮城大会について

来たる10月16日(火)、宮城県において、第41回全国土地改良大会宮城大会が、『先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に 水土里の絆 復興の歩み』をテーマに開催されます。

日程は以下のとおりとなっております。

日時：式典：10月16日(火)
事業視察：10月17日(水)～18日(木)
場所：宮城県総合運動公園 グランディ21
仙台国際センター(宮城県利府町)



会議と行事

3月	5日	土地改良事業団体連合会九州協議会 技術担当者会議(鹿児島市)
	8日	土地改良事業団体連合会九州協議会 会長・事務責任者会議(大分市)
	9日	農業会議第12回常設審議委員会(長崎市：農協会館)
	26日	全国水土里ネット第60回通常総会・表彰式(東京都)
	29日	長崎県担い手育成総合支援協議会総会(長崎市：農協会館)
	30日	本会職員辞令交付式
4月	2日	平成30年度仕事始め式
	10日	農業会議第1回常設審議委員会(長崎市：農協会館)
	13日	平成30年度第1回農業農村整備事業関係地方機関長会議(長崎市：長崎県庁)
	17日	第208回理事会(長崎市：土地改良会館)
	24日	土地改良事業団体連合会九州協議会 総務担当者会議(那覇市)
	25日	九州各県耕地関係課長等会議(熊本市)
5月	10日	土地改良事業団体連合会九州協議会 第60回通常総会(佐賀市)
	23日	土地改良事業団体連合会九州協議会 合同会議(宮崎県)

平成30年度長崎県農業農村整備事業推進大会開催決定

今年度も、長崎県農業農村整備事業推進大会が
開催されます。

みなさま、ご参加をよろしくお願い致します。

日 時：平成30年10月30日（火）

場 所：諫早市文化会館（諫早市）

本会会員新規加入について

この度、下記土地改良区が本会会員に加入されましたのでご紹介します。

これにより本会の会員土地改良区は、101団体となりました。

土地改良区名	所 在 地	理 事 長	加入年月日
宮田土地改良区	雲仙市国見町土黒甲 1079-1	小川 清美	平成29年12月1日
向月土地改良区	平戸市野子町 2734-8	藤澤 清	平成29年12月6日
桃山田土地改良区	雲仙市千々石町戊 370-1	町田 一久	平成29年12月11日
駄野土地改良区	波佐見町田ノ頭郷 359-1	村田富士利	平成29年12月22日
正久寺長田土地改良区	諫早市正久寺町 369	松田 正幸	平成30年1月26日



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102
 総務部：総務課・会員支援課・事業推進室 (E-mail: n.soumu.3101@ntr.or.jp)
 技術部：技術課・換地課 (E-mail: nagasaki.setukei@ntr.or.jp)

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉ sisho02@ntr.or.jp
 島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉ sisho03@ntr.or.jp
 五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉ sisho05@ntr.or.jp
 壱岐支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・✉ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ✉ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】